

会議の名称	学校の統合を含めた本庄市立小中学校の教育環境の向上に関する説明会
開催日時	令和6年12月15日（日） 14:00～15:30
開催場所	セルディホール
出席者	吉田市長、山下部副市長、下野戸教育長 【教育委員会事務局】笠原事務局長、武政参事 【学校教育課】西田課長、市川課長補佐、大澤課長補佐、 櫻井課長補佐、松島主査、遠藤主事 【企画財政部】橋本部長 【企画課】柳課長、鈴木課長補佐 【保健部】榊田部長
参加者	100名
議題 (次第)	1 開会 2 あいさつ 3 説明 本庄市立小・中学校の教育環境の向上について 4 質疑応答 5 閉会
配付資料	・ 次第 ・ 【資料1】 本庄市立小・中学校の教育環境の向上について ・ 【資料2】 各公共施設の見直し方針（案） ・ 【資料3】 「各公共施設の見直し方針（案）」に関する詳細資料 ・ 【資料4】 見直し方針（案）に基づく主な施設の位置図

説明会の経過	
発言者	発言内容
学校教育課 (西田課長)	本日は大変ご多用のところ、学校の統合を含めた本庄市立小中学校の教育環境の向上に関する説明会にご出席いただきましてありがとうございます。私は本日の司会進行を務めます、学校教育課の西田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。 ここで事前に皆様方にお願いがございます。会議の進行上、携帯電話、スマートフォン等をお持ちの方はマナーモードにさせていただくか、電源をお切りいただきますようよろし

	くお願いいたします。 なお、本日の説明会は開催記録を作成いたします関係上、会場全体の開催風景の撮影および質疑応答等の録音をさせていただきます。あらかじめご承知おきください。また皆様方には、録音、録画、写真撮影はお控えくださいますようお願いいたします。 本日の説明会の終了時刻でございますが、15時30分を予定しております。限られた時間となりますがご理解いただきますようお願いいたします。 それでは、次第に従いまして進めさせていただきます。初めに、本日の説明会に当たりまして、吉田市長よりご挨拶を申し上げます。
吉田市長	皆様こんにちは。 外は大変寒い日になっておりますけど、セルディまで足を運んでいただきましてありがとうございます。本庄市長の吉田信解でございます。この説明会ですけど、これまで学校の今後のあり方やお子さんの今後の教育のあり方等を審議会で話を進めまして、各学校、あるいは学校運営協議会の皆さん、自治会の皆さんと話をし、今年の夏に各地域で説明会を開かせていただきました。 ところが説明会には関心ある地域ではたくさんの方がいらっしゃっていただきましたが、結果として、若い方の参加が少なかったという状況がございました。そこで、当事者である皆さんに説明を聞いていただいて、忌憚のないご意見をいただくことが大事だろうということで、昨日今日の説明会の開催となった経緯でございます。 昨日は本庄地域ということで本庄市役所にて開催でしたが、私として改めて非常に大事だなと思ったことがありまして、皆様はおそらくこれから小学校の方にお子さんを通わせる親御さんがほとんどではないかと思います。学校の統合につきましては、子どもたちの教育環境をしっかりと作っていかうという考えにおいて、教育委員会で考え進めておりますが、その移行期にお子さんを小学校に通わせる予定がある親御さんは色々と不安や大変心配な点があることを昨日改めて感じました。 今日はこれまで市で進めたこと、どう進めてきたかお話をさせていただきますが、まだ決まっていないこともたくさんございます。皆さんに丁寧に意見をいただきながら進めていかなければならないと考えておりますので、ぜひ忌憚のないご意見を頂戴できればと思っております。

	この後、教育長から挨拶があり、職員から大体 45 分程度これまでの経緯を踏まえた今後の教育のあり方、統合のあり方も含めてご説明させていただき、ご意見をいただくことになります。先ほど録音させていただきますと言いましたが、誰が発言した等、名前がでるものではございません。 ぜひ安心していただいて、不安な点や、考えてほしいことがありましたらお寄せください。これについては、ここですぐやりますとか、やりませんって答えは出せないものがほとんどだと思いますが、皆さんからの貴重な意見として承りたいと考えておりますし、今後、各学校単位で丁寧に進めていく考えですので、今回は第 1 歩として、ご不安やご不明な点がありましたらお寄せいただきたいと思います。 どうぞよろしくお願いいたします。
学校教育課 (西田課長)	続きまして、下野戸教育長よりご挨拶を申し上げます。
下野戸教育長	皆さんこんにちは。 教育長の下野戸と申します。 本日はお忙しい中お集まりいただき、大変ありがとうございます。 先ほど市長の方からもお話ありましたが、教育委員会でも数年前から少子化に向けて世の中が変わっていく中で、本庄市の子どもたちの教育をどうしていくのがいいだろうかと考えてまいりました。その中で案を作って、14 回の説明会をさせていただき、また学校運営協議会でも説明させていただきました。ご意見いただく中で、子どもたちの声を聞いたのかというお話がありましたので、4 中学校でもこれからの学校教育をこうしていこうと思っていると案についてお話ししました。中学生なりに一生懸命考えてくれて、たくさんご質問いただきました。先ほど市長からもありましたが、これからお示しさせていただく案につきましては、これからも丁寧に情報を提供させていただきながら進めてまいりたいと思っていますので、忌憚のないご意見をいただければと思います。 本日はどうぞよろしくお願いいたします。
学校教育課 (西田課長)	それではここで、本日配付いたしました資料の確認をさせていただきます。資料番号は右上に印字してございます。 最初に、説明会の次第になります。それから資料 1、本庄市立小中学校の教育環境の向上について、資料 2、各公共施設の見直し方針案。資料 3、各公共施設の見直し方針案に関す

	る詳細資料。資料 4、見直し方針案に基づく施設の配置図。最後に説明会アンケート用紙の 6 点でございます。資料の不足はございませんでしょうか。 それでは、次第の 3、説明事項に移らせていただきます。本庄市立小中学校の教育環境の向上について、学校教育課より説明いたします。その後、学校以外の公共施設の今後の整備方針について企画課より説明をいたします。少し説明が長くなってしまい申し訳ございませんが、続けて説明をした上で、質疑応答に移らせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。
学校教育課 (松島主査)	(資料に基づき説明)
企画課 (柳課長)	(資料に基づき説明)
学校教育課 (西田課長)	それでは質疑応答に移らせていただきます。事務局よりマイクをお持ちいたします。ご質問やご意見のある方は挙手の上、発言をお願いいたします。
参加者①	ご説明ありがとうございます。 先ほど後ろの方に指摘されたように、こういう所で居眠りをするのはいかがだと思います。皆さん真剣に考えて来られている非常に重要な場だと思います。
吉田市長	大変申し訳ございませんでした。
参加者①	質問ですが、単学級が人間関係に寄与するお話ですが、その裏付けはあるのでしょうか。 単学級が人間関係に支障をきたすということであれば、他の学校と交流したり、地域との連携を図ったり別の方法も考えられると思うのですが、まず単学級が人間関係に支障をきたすといったデータ等あるのでしょうか。
教育委員会事務局 (武政参事)	こちらにつきましては、学校部会で学校の先生や地域の方達によって審議を重ねてきたものになりまして、
参加者①	シンプルに根拠を知りたいだけです。
教育委員会事務局 (武政参事)	単学級にも良い所もあるのですが、今後少子化が進み人数も少なくなってくるので、
参加者①	それであれば、単学級が問題ではなく、人数が問題だと言いつけてほしいです。
下野戸教育長	単学級ということはずっとクラス替えがないということで、そこは子どもたちの人間関係などを考えたときに、クラス替えができたほうが良いだろうということで、根拠という

	か、これは経験値です。
参加者①	課題設定が具体的じゃないから、全部抽象的に見えてしまって、なぜ人数が少ないといけないのか、なぜ単学級じゃないのかわからないし、それをすることによって得られる最大のメリットがわからないです。 先ほど申し上げた通り、恒常的な人間関係を円滑に進めることが必要なのであれば、週に1度でも場を設ければいいと思います。
下野戸教育長	人間関係のことについて、根拠とのことですが、これが根拠と捉えられるかどうかわかりませんが、私自身も教員をやっております、やはり子どもたちの人間関係が固定化してしまうよりは、様々な場面でいろんな友達とも触れ合うことが大事にと考えてのことです。
参加者①	わかりましたありがとうございます。 ちょっといっぱいあるのですが、自己肯定感がいずれ下がるのは当たり前のお話ですので、ここに入れなくてもいいと思います。 通学区の適正について4kmは子どもにはきついと思いますがどういった根拠ですか。
教育委員会事務局 (武政参事)	こちらの基準は国の手引きと同じ基準になっていまして、
参加者①	すみません、国の基準ではなく、ここは地方なので、本庄市の基準の理由が知りたいのです。そもそもスクールバスが出ているのであれば関係ないですが。
教育委員会事務局 (武政参事)	実際に暑い中、小学生が4km歩くのは大変だと思いますが、現状本庄市では距離が長い児童でも3km以内でして、
参加者①	4kmが適正とあるので聞いています。 すごく大事なことを説明されているので、数字の根拠を質問されて、それがなかなかわからないのでは僕らはフラストレーションがたまります。 僕の子どもは多分大丈夫です。あまり変わらないと思います。だけど僕以外の方は関係してきます。自分の子どもがそうだったら大変困るわけです。 憶測やだろうでしか答えられない内容をこの資料で羅列されても、納得ができません。
教育委員会事務局 (武政参事)	4kmというのは国の基準で、実際の、
参加者①	国の基準ではなく、本庄市の基準として4kmは適正かど

	うかを問うています。
教育委員会事務局 (武政参事)	本庄市としても国の基準同様にこの範囲が適正と考えています。ただし、様々な事情で徒歩通学が困難な場合を考慮して、但し書きで通学用バスの導入を検討するとしています。
参加者①	そうしてください。
教育委員会事務局 (笠原局長)	私の方から 1 点追加でお話させていただきます。先ほど説明の中で学校部会の中で色々話し合ったとありました。先ほどの 4 k m の関係ですが、その中で当然地域によっては地形とか、様々な事情がありますので、小学生には遠いのではないかという議論もあった中で話し合っ、地域の実情に応じて通学用バスの手段を検討するという考え方を入れさせていただいたところでございます。
参加者②	先ほどの説明では少子化で子どもたちが減るということでしたが、本庄市から発表されたまちひとしごと創生総合戦略によると、出生率が 1.23 で子どもが増えるってありますが、子どもが増えるのに学校を統合していくのでしょうか。
企画財政部 (橋本部長)	まちひとしごと創生総合戦略を担当しているところでございます。出生率はそこに書かれてあるとおり、もっと増やしないと子どもは増えません。 2.0 以上まで増えないと増えません。今、1.13 です。20 年前の出生数は 800 人くらいでしたが、現在 400 人程度です。 20 年後には、もしかしたら 200 人程度になるかも知れませんが、ずっとこのまま下がるものでもないと思います。これは本庄市だけではなく、全国的に減少しています。 そのため、総合戦略では、子どもたちを増やしましょう、住みやすい子どもを育てやすいまちにしましょうということまで一生懸命やっています。 ただ、なかなか難しい現状がありますので、ご理解いただければと思います。
参加者②	ありがとうございます。だから増やしていこうっていう気持ちがあるわけですね。 市として増やしていこうという気持ちがあるなら、統合というのはちょっと話が逆じゃないですか。
企画財政部 (橋本部長)	先ほど申し上げましたけども、実際、20 年間減ってきています。今後も減ってしまう予測があるわけです。市として増やしたいのですが、そういった現象が全国であるということとはご理解いただければと思います。
吉田市長	私の方からお話しします。まず、先ほど大変失礼いたしま

	した。申し訳ございませんでした。 改めて今の話にお答えいたしますと、実際この出生率というのは、2.0 ないとこの人口は減ってしまいます。親が 2 人で、お子さんが 2 人生まれないと持続できないため 2.0 が必要で、生まれてすぐに亡くなってしまう方もいますので、2.0 以上が必要になりますが、そのぐらいいないと持続できません。 それが 1.2 とか 3 っていうのが、全国的な状況です。本庄市の人口は二つの側面がありまして、一つは自然増減で生まれるお子さんの数と亡くなる方の数の差です。 もう一つは社会増減といって入ってくる人と出ていく人の差です。当然、生まれるお子さんを増やしていきたいし、入ってくる人も増やしていきたいと思っています。 本庄市では入ってくる人は出ていく人よりも多いですが、いかんせん生まれる子が少ないので人口減少がどんどん進んでいます。子どもの数が減っていくということは、この先赤ちゃんを産む年齢の方々の数がどんどん少なくなるという可能性があるので、やはり簡単にこの出生率を上げることは難しくなっています。 それをまず大前提として考えなければいけないと思っています。
参加者③	旭小学校区に住んでいる者ですが、変なことを聞いてしまって申し訳ないですが、旭小学校の方が統合することになると、旭小学校区に住んでいる児童たちは本庄西小学校に通うことになると思うのですが、それによって活動範囲が広がると思われます。例えば、本庄西小学校方面に行くとなると、道路等で危険な場所が結構あると思いますが、今回、建物に対しての整備は説明があったのですが、通学路であったり、子どもたちが遊びにいくときとか、学校がないときに使う道を整備する予定はありますか。
山下部副市長	統合が決まったときの通学路が、現在の学校への通学路と違う可能性があるってということだと思いますが、それにつきましては今後、統合に向けてお子さんが通う前から通学路の安全性を確保しながら、道路の専門部署と一緒に対応していきます。 安全性の確保は当然出てくると思いますので、そう進めていきたいと思っています。
参加者③	検討していただけるということですのでよろしいですね。 ありがとうございます。

参加者④	学校の統合をした場合、学童ってどういうお考えでしょうか。
保健部 (榊田部長)	学童保育につきましては、現在計画の中では本庄東小学校と中央小学校のことについて記載がありますが、他の小学校区についても統合に合わせて、学童保育の需要を含めて検討してまいりますので、ご理解いただきたいと思います。
参加者⑤	具体的な案はまだ一切ないということによろしいですか。
保健部 (榊田部長)	具体的な案はありませんが、来年度以降また改めて学童保育のあり方について検討してまいりますので、よろしくお願いいたします。
吉田市長	以前の説明会でも申し上げたのですが、本庄市の学童保育は民間の学童施設が大変たくさんあります。民間の学童さんに多く担っていただいている状況でございます。 民間の学童さんにやっていただく中で、それでも足りなかったり、こういった部分がないということについては、これはしっかり考えていかなければいけないというふうに考えておりますし、必要によっては行政のほうでもニーズに応じて充実させていく方針でいることになっておりますので、そういう声についてはお寄せいただきたいと思います。
参加者⑥	出生率がっていうことですが、保育料の無料化とかはないですか。そうすれば子育て世代の方たちも本庄市は住みやすいって思うのですが、その辺はどうでしょうか。
吉田市長	このことについても、以前の説明会でも同じような質問がございまして、例えば、隣の深谷市や上里町が保育料無償化をする中、本庄市ではどうかという話がありましたので、現在のところ申し上げますと、本庄市の少子化対策はどういう形が良いか、今いろいろ議論をしているところです。 新年度に向けて、新たに何をしていくか議論していきたいと思っておりますので、この場所ではまだ申し上げられませんが、同様のご意見をたくさんいただいておりますので、それを受け止めて、市としてできる限りのことをやっていきたい、このように考えております。
参加者⑦	まず統合を早めることがあるのか。2 点目がスクールバスの運用方法はどうなるのか。最後ですが、児玉地域の本庄側に住んでいる子は、統合小学校よりも本庄の小学校のほうが近いのですが、本庄の小学校に通うことができますか。
教育委員会事務局 (武政参事)	まず、統合が早まることがあるのかについてですが、人口推計を用いて統合年度を示していますので、基本的には示し

	た年度での統合となります。今後、急激に人口が増減する場合には、当然検討が必要となりますが、基本的には示した統合年度を見据えて進めていきたいと考えています。 二つ目のスクールバスの運用についてですが、児玉小学校に統合になった場合には、金屋、秋平、共和小学校区のお子さんはスクールバスを想定しています。 また、児玉高校の跡地を活用する場合には、新たに通学路を設定し、スクールバスの適用範囲についても統合準備委員会で決定していくことになります。 最後の質問ですが、基本的には中学校区ごとで考えておりますので、別の中学校区の小学校に通えることは考えてございません。
参加者⑦	事前に説明があるかどうかを知りたいのですが、その辺は事前説明していただくということでしょうか。
教育委員会事務局 (武政参事)	統合準備委員会で検討し、ご説明しながら進めてまいります。
参加者⑧	2点ほど聞きたいことがあります。資料1の8ページ目のところですが、不登校児童生徒数の増加というところですね。 こちら急増している増加しているというところについて、データの分析、増加した理由とか、そういったことをちょっとご説明いただきたいなと思います。 直近2年ほどはコロナの影響かなと自分は勝手に考えていますが、その辺も含めてご説明いただきたいと思います。
学校教育課 (西田課長)	グラフの方でも直近2年間で特に増えています。これは全国的なことになってしまっていますが、この頃から不登校児童生徒が増えているというところがあります。 不登校の原因については、不安であったり、気力といった部分が非常に多い状況にあります。特に最近小学校では低学年が少し増えてきています。 そういったところを重点的に取り組みながら、課題に向き合ってきているところでございます。
参加者⑧	そうするとデータの分析が甘い気がして、例えば平成27年で中学校が減っています。これはデータのばらつきではないような気がして、そこをどのように考えているのか。 例えば、今この場に出席される方のお子さんが小学校から中学校に上がると同じように不安を感じると思いますが、ここ10年ぐらいですか、どのように変わっているのか、20年前とはどのように違うのかというところをもう少し説明い

	ただけますか。
下野戸教育長	不登校児童生徒が増えていることについて、原因は何なのかというのは本当に難しいです。色々な事情が実際ありますので、これはこうだとは言いません。ただ、先ほどコロナが原因ではないかということで、その影響は一定期間あったと思います。 例えば、ある中学校は2日に1度だけ学校に行く期間がありました。家のときはタブレットで授業を受けるようにしました。そうすると学校に行かなくても授業が受けられるのであれば、学校に行かなくてもいいのではないのかという考え方がでてきます。世の中でも学校に行くことだけがいいのかという考え方が広まって、いわゆる多様性ということですよ。 確かに不登校というと、いけない事みたいに思いがちですが、色々な事情がございます。国でもそれから本庄市もそうですが、どこにいてもしっかり学べるようにしていこうということで、不登校がよくないということではなくなってきています。 ただ、やはり公教育ですので、皆一緒に学んだり、遊んだりできることの方がよりいいだろうと考えています。ぜひ子どもたちに来てもらって一緒に授業を受けてほしいという思いはありますが、色々と認めていかないといけない世の中なのかなと感じているところです。
参加者⑧	赤字で不適応状態が増加傾向とありますが、それだけではないということですね、わかりました。 2点目で、小学校の新規プールの話ですが、小学校のプールを1ヶ所に集約する話で、どこに検討してるのかって質問です。
教育委員会事務局 (武政参事)	共和公民館がある場所になりますが、こちらが市の中心部になりますので、どこの小学校からでもバスで行きやすいということで、複合化施設として建設予定となります。
参加者⑨	学校規模の適正化ですが、児玉地区の統合年度は令和18年度ということで、それまでの期間は単学級の問題であったりとか、いろいろお話をされたと思うんですけど、その問題を抱えたままの状態なのでしょうか。 その前の適正化ということで、2校の統合ってということも検討されたのでしょうか、どういった対応を検討されているのか、この状況で18年度までいいと思っているのか伺いたいです。

学校教育課 (西田課長)	おっしゃる通り児玉地区については令和 18 年度の統合を予定しています。それまでの間については、資料の中に少し示させていただきましたが、その期間については統合の事前交流事業などを行いながら進めていくことを検討しているところでございます。そういったところで、対応しながらと考えておりますので、ご理解いただければと思います。
参加者⑩	小中一貫教育の推進のところで、ものすごいメリットがあるような書き方ですが、ちょっと自分の中で気になっているのが、9 年間ずっと同じ学校にいて、例えば、うちの子がいじめられている場合に、今の状態だと中学校に上がるときに友達の環境が変わるので、また学校に行こうと考えるのかなと思うのですが、9 年間一緒だとどうなのかなって思ったりとか、そういうところのデメリットを聞きたいです。 あと、28 ページの黒丸の 3 番目の小・中学校の教員間の連携がとりやすく特別支援学級ではいろいろ書いてありますが、今子どもが小学校に通っていて、うちは家庭環境いろいろあるので、そういうことを先生方にお伝えしながら指導していただいているのですが、学年が上がるごとに、先生が変わる中で情報共有がなされていないといった現状があるので、いいこと書いてあるけど嘘でしょって思ってしまうのですね。 そういうところをデメリットとして説明していただきたいと思うので、よろしくお願いします。
学校教育課 (市川課長補佐)	小中一貫教育については小中学校が一緒になるという想定ではなく、同じ中学校区の中で小学校と中学校がより連携を深めていって、小中学校が一体となった組織を作っていく認識でございます。 我々としては統合のあるなしに関わらず、来年度より小中一貫教育を進めていきたいと考えています。 今現在も小学校と中学校間で行き来をしながら交流を深めている活動をしております。また、先生方も交流を深めながら、より子どもたちの一人一人の状況を確認しています。ご心配な部分も多いと思いますが、よりデメリットの部分を減らしていこうということで、小学校と中学校のギャップを減らしていこうという取組です。 連携していく中で、ご心配されている子ども達の心の部分についてもケアしていこうと進めております。 先生方の情報交換が難しいのではないかというご質問です

	が、例をあげますと、検討段階ではありますが、総合的な学習の時間が 7 時間程度ありますが、まずこの学習で全ての小中学校で同じように学習を進めていくことを考えています。学習方法をこちらから提案して、小中学校の先生方の指導方法を同じ方法で考えてもらいます。それに合わせて先生方の授業での交流を重ね、先生方の指導力も向上しながら交流を進めていきたいと今検討しております。
下野戸教育長	小中一貫よりも、まず今の小学校 6 年間の中で、先生方の情報が共有されていないことのご指摘だと思います。 それは本当に申し訳ないと思っています。こういった事情か今のお話ではわかりませんが、子ども 1 人 1 人が楽しく充実した学校生活が送れるように、ご家族の方と情報共有しながら、次の担任へと必要なことを共有していくべきことですので、しっかり改めていきたいと思っています。
参加者⑩	教育長さんに一つお願いがありまして、学校の先生方はもちろん命を預かっているという自覚があると思いますが、やはり保育園とか幼稚園の方が、自分から見ても命を預かっている実感が多いと思います。 教育をしなくてはいけない部分もあるから、そういうところが欠けてくるとは思いますが、もう少し小学校の先生方も今足りないわけではないのですが、今一度、小中学生の命を預かっている立場であることを本庄市の教育長として指導していただければと思います。
下野戸教育長	はい、ご指摘ありがとうございます。もちろん命が一番大事なことです。当然教育ですので学力をつけていくことも大切ですが、まずは命が大事ということは私も思いますので、先生方に伝えさせてもらいます。
参加者⑪	最後に一つ聞きたいのですが、先ほど学校規模の適正化について、大多数が賛成の意見とのことですが、こういった方の意見が採用されたのかを聞かせてほしいです。
教育委員会事務局 (武政参事)	これまでの話の中で自治会長さんや市議会議員さんなどから、児玉地域は 1 つがいいのではないかというご意見をいただいています。
参加者⑪	そこに現役世代の親御さんたちは入っているのでしょうか。
教育委員会事務局 (武政参事)	PTA の役員さんの意見が入っています。
参加者⑪	子どもを育てている人たちに対してアンケートを実施した

	結果、統合に対して仕方がないというような、そういうアンケートをした結果がこうなのですか。
教育委員会事務局 (笠原局長)	基本的な考え方の案につきましては、令和４年度に作成しています。公共施設を見直していく中で、学校については子どもたちのことなので、市役所の都合ではなく、他の公共施設とは切り離して基本的な考え方の案を作ったのがスタートでございます。その中で、アンケートをとらせていただきました。対象は現在学校に通っている子の保護者、学校の先生全員、それから未就学のお子様をお持ちの保護者の一部にアンケートをとらせていただき、それに基づいて公共施設の見直しを行う審議会の学校部会で議論を重ね、大きい学校と小さい学校を見たり、意見を交わす中で、この判断となったものでございます。 未就学児の保護者全員ではありませんが、この令和４年度にアンケートは未就学児の保護者の一部にとらせていただいています。
学校教育課 (西田課長)	ではお時間となりましたので、以上で質疑応答を終了したいと思います。 多くの貴重なご意見ご質問等、本当にありがとうございました。
下野戸教育長	本日は本当にありがとうございました。貴重なご意見をたくさんいただきました。私もまたしっかり子どもたちの教育を進めていかなければならないと認識させていただきました。 今後どうぞよろしくお願いいたします。
吉田市長	昨日、今日とこれからお子様が就学される方々に対してご説明させていただきましたが、自分のお子さんが通っている中で統合となりますと、非常に心配だと思いますし、また先ほど統合までの間どうなるのかというご意見もございました。統合ありきみたいな形で、自分たちのお子さんの教育環境が不安定になってしまうことが心配だというご意見もあったと思います。 その当事者の方々の意見を丁寧に聞く中で、これから先に統合となる学校から統合準備委員会を行っていくわけですが、それ以降に統合していく場所についても、しっかりと皆さんのご意見を受け止めていくことが必要だと思います。 今日はアンケート用紙等もありますし、来年度以降も皆様方のご意見を聴取させていただく機会があると思いますの

	で、色々なご意見をいただければありがたいなと思います。 本日はどうもありがとうございました。
学校教育課 (西田課長)	ありがとうございました。今お話がありましたが、本日アンケート用紙を皆様にお配りしております。本日の質疑応答以外のご意見等ございましたら、ぜひそちらに記入いただければと存じます。いただいたご意見等は今後の協議検討に向けた参考とさせていただきます。 それでは次第の5、閉会でございますが、山下部副市長より申し上げます。
山下部副市長	本日はありがとうございました。大変貴重なご意見いただいたかと思います。皆様から頂戴しましたご意見を基にさらに深めていきたいなと思います。 今後も丁寧な説明等をさせていただきながら進めていきたいと思いますので、ご協力の程よろしくお願いできればと思います。長時間ありがとうございました。
学校教育課 (西田課長)	以上をもちまして、学校の統合を含めた本庄市立小中学校の教育環境の向上に関する説明会を終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。